

がん治療を受けながら、働き方や職場復帰について考えるときにご覧いただければと思い、

「がんと仕事のQ&A」

編集・発行 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター
の内容を抜粋し、紹介します。

職場関係者に治療の副作用を説明するのですが、なかなか理解してもらえないようです。うまく伝えるヒントはありませんか。



まずは、あなたが医師から受けた説明を思いおこしてみましょう。その説明をご自分の言葉に置きかえていくと相手にはわかりやすいかもしれません。自分や家族が病気になれば気になって勉強しますから、難しい医学用語も理解できるようになります。しかし、職場関係者はその病気や医学用語に慣れていませんから、かみくだいて説明をする必要があります。

国立がん研究センターの「がん情報サービス」ホームページなど、信頼できるホームページで副作用を検索して、それを印刷して渡すのも一つの手です。説明を準備しているときに、あなたご自身が理解不足のところが見つかったら、遠慮せずに主治医や看護師に質問してください。

